



「未来」を見つめて

子どもは社会の希望であり、未来をつくる大切な存在です。

子どもを安心して生み育てることができる環境づくりや、子ども自身の生きる力、他の人と共に生きる力を育成していくことは極めて重要です。また、子育てについて、男女ともに喜びを感じながら取り組めるよう、社会全体で支援していく必要があります。



子どもや子育てに関することは「こども未来部」

～組織創設から3年目を迎え～

市では、妊娠から出産、そして乳幼児から青少年に至るまで、途切れのない施策の展開を図るため、平成25年度に「こども未来部」を設置しました。子どもに関する業務を集約・再編することで、市民の利便性を向上させ、母子保健と子育てに関する悩みや子どもの発達に関する専門の相談窓口との一体的な取り組みを行い、子育て家庭に対する支援の強化に努めています。



「子どもと子育てにやさしいまち 四日市」を目指して

四日市の子ども・子育て支援

近年、家族構成の変化や地域のつながりの希薄化が進み、また、子どもの数も減少傾向にある中、子どもや子育てをめぐる環境も大きく変化しています。

こうした状況に対処し、一人ひとりの子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的とした、子ども・子育て関連三法が平成24年8月に成立しました。

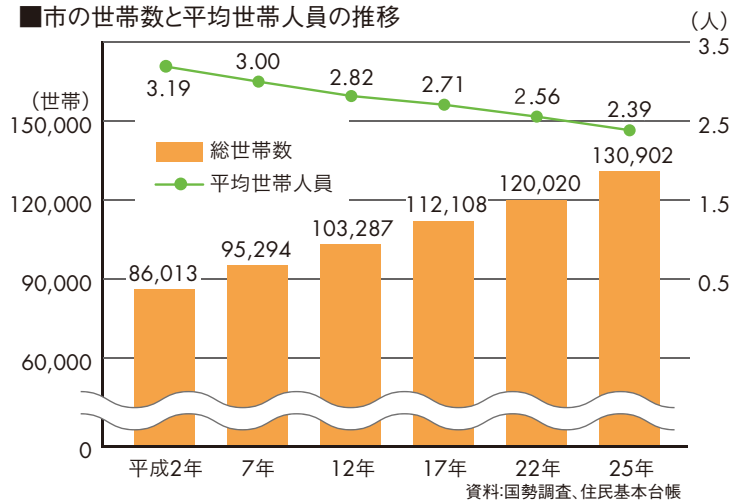
市では、法の目的に即して「四日市市子ども・子育て支援事業計画(平成27～31年度)」を策定し、子ども・子育て支援のより一層の充実を図るための、総合的かつ計画的な施策を展開することで、子どもと子育てにやさしいまちを目指しています。

今回の特集は、子育て真っ最中の皆さんと、将来のお父さん・お母さんに向けて、事業計画の中から市が行う新たな事業や、既に実施している事業の拡充などの主な取り組みを、妊娠・出産から子どもの成長に合わせて紹介していきます。

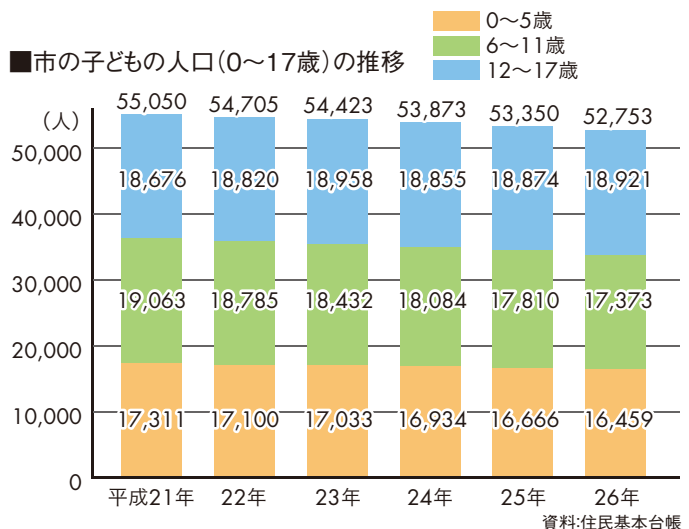


四日市市子ども・子育て支援事業計画書

■市の世帯数と平均世帯人員の推移



■市の子ども(0～17歳)の人口の推移



ここでは、市の新たな事業や、既存事業の
拡充などの主な取り組みを紹介します。

新規

産前・産後サポートを開始

妊娠中から、出産や子育てに関する不安や悩みを
解消し、安心して赤ちゃんとの生活を送ることができ
るように、保健師や助産師などの専門職が、すべて
の妊婦の状況を把握しながら、産後まで継続した相
談支援を行っています。

また、必要に応じて支援プランを策定しています。

こども保健福祉課 母子保健係 ☎354-8187



充実

不育症医療費の助成

妊娠してもおなかの赤ちゃんが育たずに、2回以上
の流産や死産、新生児死亡を繰り返すなどの不育症
で悩む人の経済的な負担の軽減を図るため、治療に
要する医療費の一部を助成します。

こども保健福祉課 給付係 ☎354-8083



拡充

子育て支援センターの拡充

乳幼児と保護者が気軽に集い、親と子の触れ合
い、保護者間の交流、育児相談ができる場である子
育て支援センターについて、今後、より身近な場所で
利用していただけるよう、地域ニーズに合わせて増設
します。

こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069

新規

親子を支援する「パンダひろば」を開始

生後6カ月ごろまでの乳児
の保護者を対象に、子育ての
悩みや喜びを共有し、互いの
育児不安が軽減できるような
仲間づくりのきっかけの場と
して「パンダひろば」を実施し
ています。

こども保健福祉課
母子保健係 ☎354-8187



拡充

保育所の定員を増加

認可保育所の定員枠を拡充し、特に低年齢児の受け入れを進め、待機児童の解消を図ります。

保育幼稚園課 管理係 ☎354-8173

拡充

延長保育・休日保育の実施保育所を増加

多様化する保護者の就労形態に対応するため、開所時間を超えて保育を実施する延長保育や休日保育を実施する認可保育所を増やします。

保育幼稚園課 管理係 ☎354-8173

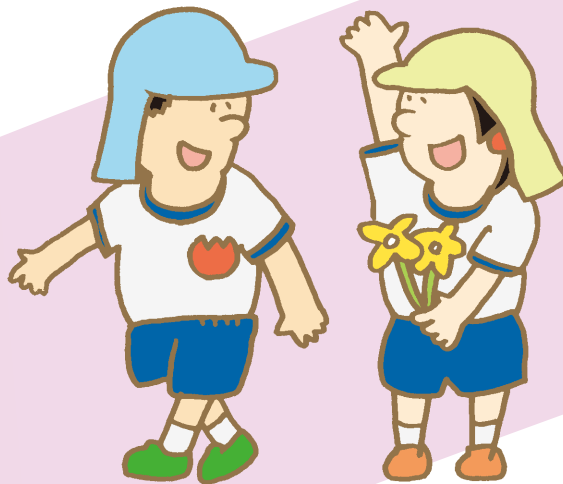
拡充

一時預かりの実施保育所を増加

保護者の育児疲れや急病などにより、一時的に家庭で保育を受けられない子どもを預かる認可保育所の実施園を増やします。

また、私立幼稚園では、在園児を対象に預かり保育を全園で実施しており、保護者の育児支援と子どもの健全育成を図っています。

保育幼稚園課 管理係 ☎354-8173



充実

発達段階に応じた質の高い就学前教育・保育を提供

幼稚園教諭や保育士の継続的な研修や交流などを行うことにより、子どもの育ちにとって重要な人材の育成を図り、職員の資質の向上に努めます。

0~5歳児までの一貫した就学前教育・保育カリキュラムを策定するとともに、年齢別カリキュラムに応じた園教育・保育を提供します。

すべての園で特別支援保育・教育が必要な子どもを受け入れられるよう、保育士や幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一人ひとりの特性に応じた保育を行います。

新規

地域型保育事業の創設

少人数単位(6~19人)で低年齢児(0~2歳児)を預かる「地域型保育事業」を創設し、増加している低年齢児の入所希望に対応しています。

保育幼稚園課 管理係 ☎354-8173

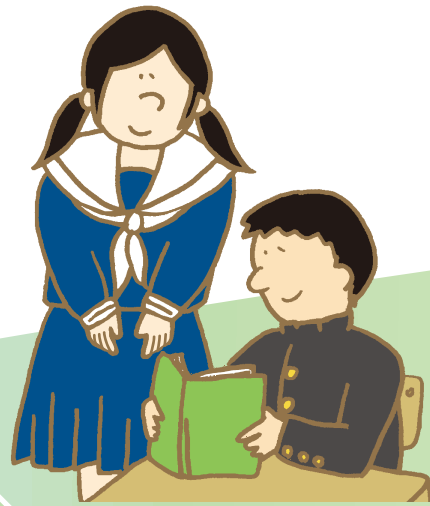
保育幼稚園課 指導係 ☎354-8087

充実

学童保育所への支援を充実

放課後などに留守家庭となる児童の生活と保護者の就労を支援する学童保育所について、利用児童の増加が予想されるため、受け入れ態勢の整備に必要な支援を行います。

こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069



拡充

子ども医療費助成を 中学生通院分まで拡充 (義務教育期間中は、すべて無料化)

子どもの健全な育成と、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの保険診療に係る自己負担分の助成について、中学生の通院分まで範囲を拡充します。(保護者の所得によっては、制限があります)

こども保健福祉課 給付係 ☎354-8083

拡充

病児・病後児保育の充実

保護者の就労などの都合により、病気または病気回復期の乳幼児・児童を一時的に保育する事業を充実させるため、医療機関の協力を得ながら新たな施設の設置に向けて検討を進めます。

こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069



◀現在、市内にある病児保育室「カンガールーム」

充実

ショートステイの受け入れ態勢を充実

一時的に養育が困難になったときに子どもを預かる施設(児童養護施設・乳児院)の利用児童数が増加傾向にあるため、受け入れ態勢の充実を図ります。

こども保健福祉課 家庭児童相談室 ☎354-8276

充実

子育ての相互援助活動を推進

ファミリー・サポート・センター事業[子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育ての援助を行いたい人(援助会員)の相互援助活動]の会員数増加を図り、子育ての相互援助活動を推進します。

■子育て相互援助のしくみ



こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069

充実

インターネットの安全安心講座・研修会の実施

気軽にインターネットに接続できる携帯電話やスマートフォンなどの使用で子どもがトラブルや犯罪被害に巻き込まれないように、学校・園や地域の子ども、保護者などを対象とした、研修会や出前講座を実施しています。

7月から、青少年が使用する携帯電話などの契約時に、フィルタリングを設定することが三重県の条例で原則義務付けられました。家庭におけるルール作りや正しい使い方の啓発を行い、周知を図ります。

こども未来課 青少年育成室 ☎354-8247



ケータイ・スマートフォン安全安心
利用啓発リーフレット

充実

父親の子育てマイスター養成講座の実施

パパが笑顔で、楽しく子育てができるように、子育て世代の男性を対象に、子育てに関する講座を開催し、修了者を「子育てマイスター」に認定しています。養成講座を始めてから今年で6年目になりますが、子育てマイスター同士の交流や子育て相談(よかパパ相談)などの活動の場はますます広がりを見せています。今後も養成講座を通じて、男性の子育てへの参画意識を高めていきます。

こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069



簡単なランチ作りの体験講座

マイスター企画・編集
による情報誌



新規

利用者支援事業の開始

市では、4月から、こども未来課の総合相談窓口を利用者支援専門員(子育てコンシェルジュ)を配置しています。

こども未来課 子育て支援係 ☎354-8069



笑顔で子育て! 応援します

皆さん、笑顔で子育てができていますか。

ここで紹介した市の子育て支援事業のほかにも、民生委員・児童委員さんや地域のボランティアさんなどにより、多くの子育て支援サービスが行われています。皆さんが安心して、そして笑顔で子育てしていただけるよう、皆さんの立場に立って、さまざまな子育て情報を分かりやすくお伝えできればと思っています。

「こんなこと聞いてもいいのかな」「こんなことでしんどいって思うの、変なのかな」なんて思わず、どんなことでも、気軽に声を掛けてくださいな。



利用者支援専門員
(子育てコンシェルジュ)
古川 久美子

編集後記

子どもをめぐる環境は常に変化しています。「四日市で子育てをしたい、子育てしよう」と思っていただけのように、新たな子育て支援の取り組みを中心に、今回の記事を書きました。これからも皆さんと一緒に「子どもや子育てにやさしいまち」を目指していきたいと思います。(こども未来課 三井、広報広聴課 服部)